北九州工業高等専門学校	開講年度	平成30年度 (2018年度)	授業科目	知的財産

科目基礎情報

科目番号	0081	科目区分	一般 / 必修
授業形態	授業	単位の種別と単位数	学修単位: 1
開設学科	生産デザイン工学専攻	対象学年	専2
開設期	前期	週時間数	1
教科書/教材			
担当教員	廣瀬 孝壽,白神 宏		

到達目標

現代の技術の課題について考察することができる。
特許情報を調査して、新技術の創造に活用することができる。
知的財産権という権利の重要性を理解できる。

ルーブリック

	理想的な到達レベルの目安	標準的な到達レベルの目安	未到達レベルの目安
評価項目1	知的財産権の取得について十分理解できる。	知的財産権の取得についてほぼ理解できる。	知的財産権の取得について理解できない。
評価項目2	知的財産権の侵害について十分理解できる。	知的財産権の侵害についてほぼ理解できる。	知的財産権の侵害について理解できない。
評価項目3	特許調査が十分できる。	特許調査がほぼできる。	特許調査ができない。

学科の到達目標項目との関係

教育方法等

概要	以下の授業目的を達成するため、調査を中心とした授業を行う。 1.創造力を高めること。 2.創造した技術が既に存在しているかについて、調査すること。 3.創造した技術が特許権を取得できる可能性がある場合、特許権取得方法を学習すること。
授業の進め方・方法	発明に関する知識について学習することとなるので、以下の点に注意すること。 1.自分自身の創造力を高める方法について、論理的に分析すること。 2.知的財産制度に関する基礎知識を理解した上で、調査を行うこと。
注意点	特許調査を行い、レポートを作成する。

授業計画

		週	授業内容	週ごとの到達目標
前期	1stQ	1週	特許調査の基礎	特許調査の基礎がわかる
		2週	知的財産の基礎	知的財産権の基礎知識がわかる
		3週	特許調査	特許調査ができる
		4週	特許調査レポート作成（1）	特許調査した技術の概要が理解できる
		5週	特許調査レポート作成（2）	特許調査した技術を説明できる
		6週	特許調査レポート作成（3）	特許調査した技術を説明できる
		7週	特許調査報告（1）	特許調査した技術を説明できる
		8週	特許調査報告（2）	特許調査した技術を説明できる
	2ndQ	9週	特許調査報告（3）	特許調査した技術を説明できる
		10週	特許調査報告（4）	特許調査した技術を説明できる
		11週	特許調査報告（5）	特許調査した技術を説明できる
		12週	特許調査報告（6）	特許調査した技術を説明できる
		13週	特許調査報告（7）	現代の技術の課題について考察することができる。
		14週	特許調査報告（8）	特許情報を調査して、新技術の創造に活用することができる。
		15週	特許調査報告（9）	知的財産権という権利の重要性を理解できる。
		16週	定期試験	定期試験

モデルコアカリキュラムの学習内容と到達目標

分類	分野	学習内容	学習内容の到達目標	到達レベル	授業週

評価割合

	試験	レポート発表	合計
総合評価割合	80	20	100
基礎的能力	80	20	100
専門的能力	0	0	0
分野横断的能力	0	0	0